

2021年 4月 23日

第10回 持続可能な電力システム構築小委員会に関する意見

小野 透

第10回持続可能な電力システム構築小委員会における議題に関して、以下の通り意見を提出いたします。

○平時の電力データ活用について

前回の本小委員会での議論を踏まえて、改めて事務局案をご提示いただいた。「データの活用によって、必ずしも全ての電力需要家が恩恵を受けるわけではないため、サービス提供者・利用者の負担」とする事務局の整理は一つの考え方である一方で、電力データ活用の「公益性」をどのような視点で捉えるかにより、考え方も変わるのではないか。事務局の整理では、すべての者がすべてのサービスを利用するという合意がなければ「公益」とは認められないという考え方に立っているものと推察する。

他方で、例示された個々のサービスを見れば、すべてのサービスを利用する者は稀と考えられるが、いずれかのサービスは利用する、あるいは将来利用する可能性があると考える者が多いと想定される。また、データ利活用は様々な社会的課題の解決、ひいては将来の社会の発展につながり得るものであり、前回会合で指摘した、直接利益を生まないアカデミアにおけるデータ利用も、その一つである。

こうした「公益性」も十分に考慮し、データ利活用を促進する観点から、費用負担のあり方についてより良い方策を検討いただきたい。

以上